

群馬県損害保険防犯連絡協議会総会を開催

～交通事故を作出した保険金詐欺事件立件で感謝状を贈呈～

群馬県損害保険防犯連絡協議会（会長：遠藤 英嗣・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 群馬支店長）では、2月20日（火）15時30分から前橋ホテルで第42回総会を開催し、来賓・顧問・会員など34名が出席しました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力団対策および不正請求対策として、関連諸機関と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けており、当協議会は1981年に設置され、当支部が事務局として運営しています。

冒頭、遠藤会長から「保険金詐欺等の不当・不正請求が、善良なご契約者の利益を阻害するようなことが決してあってはならない。保険制度を悪用し、悪意をもって不正請求を行う者に対しては、毅然とした姿勢で対処していくことが、私ども損害保険会社に付託された社会的使命と考えている。」との挨拶がありました。

次に、協議会顧問を代表して、群馬県警察本部 刑事部組織犯罪対策課の小菅 博司 組織犯罪対策統括官から、「全国的に暴力団の組織は一極化してきており、その中で暴力団が特殊詐欺や保険金詐欺に加担する事例が確認されている。損保と警察が情報連携を一段と進め、不当・不正請求、暴力団等の排除の取り組みにご協力願いたい」との挨拶がありました。

総会の中で、本年6月から11月にかけて、仲間同士で故意に乗用車を追突させるなど、交通事故を繰り返し作出して保険金をだまし取ろうとした詐欺グループ9名が逮捕された事件に関し、遠藤会長から群馬県警察本部 交通部交通指導課（星野 健二 課長）に対して、感謝状を贈呈し、事件立件への謝辞が述べられました。

また、群馬県警察本部 刑事部組織犯罪対策課の高野 和佳 暴力団排除係長と同交通部交通指導課の岸 直志 交通捜査指導官から情勢報告がありました。高野係長から「暴力団の構成員は年々減少しているが、実態は不透明化しており、その資金獲得活動も多様化している。近年はSNS等で呼び掛けて離合集散をする匿名流動型犯罪グループによる犯罪が増加しているが、暴力団の関与が認められる場合がある。」等の報告がありました。岸指導官からは、交通事故を悪用した保険金詐欺の特徴の説明があり、「犯罪を立証するための裏付けは非常に困難であり、保険会社の協力が重要となっている」との話がありました。

総会の最後に、出席者全員で、暴力や不当・不正請求、反社会的勢力の排除等の決議文を読み上げ、その意思を確固たるものにしました。



開会挨拶をする遠藤会長



顧問を代表して挨拶をする群馬県警刑事部
組織犯罪対策課小菅組織犯罪対策統括官



感謝状贈呈

左：群馬県警交通部交通指導課 星野課長
右：遠藤会長



決議文読み上げ